



都市や農業インフラの整備  
・マネジメントに必要な計画  
・調査・設計を行う総合建設コンサルタント



同社が指定管理を行う市の施設「サラダ館」



十勝の旬の野菜を社員に配布



サラダ館併設のレストランと連携して作った野菜の魅力を詰め込んだおやつ



「十勝の野菜をもっと！楽しむBOOK」

## ■ 企業概要

- 設立：1967年
- 資本金：1,000万円
- 従業員：136名
- 事業：専門・技術サービス業

2021年から5年連続で「健康経営優良法人ブライツ500」に認定

## ■ 健康経営へ取り組むきっかけ

- 会社にとって社員は最も大切な財産。健康増進の第一歩として、十勝で農業に携わる専門性を活かし、社内で「食と健康の魅力ある会社づくりプロジェクト」を開始。経営トップを主導者として健康経営に着手。

## ■ 健康経営に関する取組内容

- 「食」×「健康」をテーマにした健康経営を推進。同社が管理する帯広市「サラダ館」で採れた旬の野菜や野菜入りおやつを社員に配布。社員向けの味噌造り体験会も開催。野菜配布時にレシピを同梱し、健康診断の結果から減塩メニューを考案するなど社員にフィードバック。
- 野菜ソムリエなどの資格を持つ社員が社内報として野菜通信を発行。野菜ごとの栄養成分や調理法を記載。冊子化し一般向けにも配布。
- スマホアプリを活用しウォーキングキャンペーンを年3回実施。景品として野菜セットを用意。また、運動不足解消のため社用自転車を配備。
- 健康診断は受診率100%。また、特定保健指導の受診率向上を目指し、対象者へ日程をあらかじめ決めるなど「ナッジ※」も活用。
- このほか、禁煙外来受診費用・薬代の全額補助、育児と介護のおはなし広場の開催など様々な取組を実施。

※ナッジ (nudge) = 人々を強制することなく、望ましい行動に誘導するシグナル・仕組み

## ■ 取組の効果

- 野菜のおやつや大豆を使った節分のお菓子配付などの創意工夫により社員間のコミュニケーションが生まれ、食×健康に関する取組が進捗。
- 課題の社員の肥満率は少しずつ減少し、再検査受診率は増加傾向。
- 取組が各種メディアで紹介されイメージアップや受注機会の拡大、採用力向上に貢献。健康経営の実践により社員のパフォーマンスが向上し、会社の発展をともないウェルビーイング（幸福感）が向上。